

はかなくも美しい光を

後世に引き継いでいく

TOMIZAWA-HOTARU

TOKIDON-HOTARU

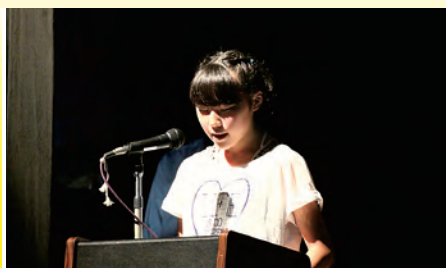
2015 6/5 FRI 金 - 7 SUN 日

川根本町文化会館ほか

閉会時には参加者の拍手が鳴りやまず、全国からの参加者をもてなそうと一体となり、準備を進めてきた「川根本町ほたるの会」の皆さんの努力に、かけがえのない美しいホタルの光が当てられた。次回開催の鳥取県・野坂米子市長に鈴木町長から大会旗が引き渡され閉幕した。



児童を囲んで
学校5年生
郷の環境を
史を紹介しな
を披露。
大きな拍手



▲県知事賞作品の朗読
本川根小学校5・6年生
●大井川から学んだこと・
川の色は教えてくれる
自然と人間の共存を考える提言
と大井川の環境保全を訴えた。

▼出演した児童を囲んで



▲ガイドライン(指針)の宣言
1日目、「ホタルの魅力を次世代に繋げるために」と題し、シンポジウムを開催。内容を受け、川根本町大会のガイドライン(指針)が宣言された。

▼歓迎セレモニー(赤石太鼓保存会)



▲落合孟郎大会実行委員長
(静岡県ホタル連絡協議会会長)
人口8千人弱の小さな町で、これだけの大きな大会が成功したことに関係者各位の尽力をはじめ、全町民の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

自然環境を守る意識が、先祖から子どもたちへと脈々とつながっていることを実感しました。ホタルは「夢」を与えてくれます。そして、全国とのネットワークという宝物をいつまでも引き継いでいきましょう。



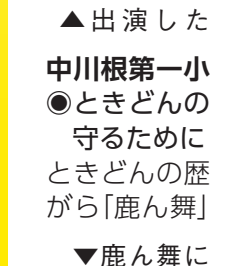
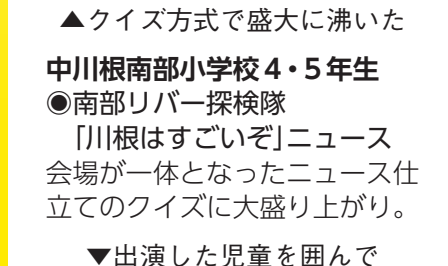
第48回全国ホタル研究会 静岡県川根本町大会

ホタルで結ばれた全国の絆

全国ホタル研究会主催の「第48回全国ホタル研究会」が文化会館をはじめ町内で開催された。

静岡県内での開催は平成5年に清水町で開催されて以来、22年ぶり2回目。

初日はシンポジウム「ホタルの魅力を次世代へ繋げるために」が開催され、夜に予定されていたホタル鑑賞会は降雨により中止となった。2日目は町内小学生や全国の研究者による活動などが発表された。夜は寸又峡特設会場で開催され、フラダンス2団体・徳山神楽「火の舞」・赤石太鼓演奏の歓迎セレモニーが大会に花を添えた。



1. フラダンス「スリースターズ」 2. フラダンス「ホヌホヌガールズ」 3. 徳山神楽「火の舞」 4. 赤石太鼓保存会 5. 次回開催の米子市へ大会旗を引き渡した



▲クイズ方式で盛んに沸いた

中川根南部小学校4・5年生

◎南部リバー探検隊

「川根はすごいぞ」ニュース
会場が一体となったニュース仕
立てのクイズで大盛り上がり。

▼出演した児童を囲んで

▲出演した

中川根第一小

◎ときどんの

守るために
ときどんの歴
から「鹿ん舞」

▼鹿ん舞に